

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	普及広報事業				シート番号	008-061
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)
						増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法・博物館法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、普及啓発事業を行ってきた。現在、普及啓発事業は全ての博物館で重要な事業の一つとなっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	普及業務では、市民およびビジターへの生涯学習の場として、また、とくに小中学生に対しては、展示品を通して堺の歴史・文化・伝統を紹介することを目的とする。また、広報業務としては、博物館事業を広報し、博物館への来館を促すことを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	古文書講習会・体験学習会などの開催、博物館ボランティア制度の導入、博物館研究報告の作成等を行う。また、堺市博物館事業全般の広報業務を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

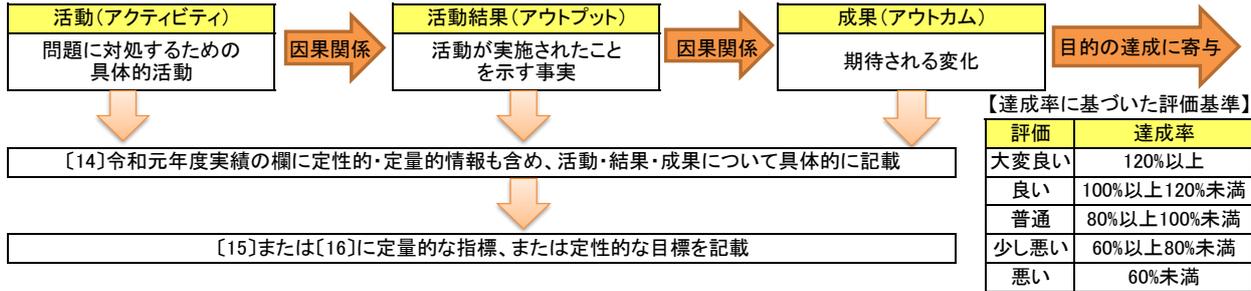
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	2,014	2,049	1,920	1,757	2,014	1,699	1,483	
主な事業費内訳	謝礼金等	千円	161	159	111	23	116	41	81
	印刷製本費	千円	179	245	89	64	89	6	35
	広告料	千円	600	605	600	474	600	506	100
	国・府支出金	千円							
	財源内訳	千円			420			162	420
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円								
	千円	1,501	778	448	152	1,501	180	542	
一般財源	千円	513	1,271	1,052	1,605	513	1,357	521	
12 人件費 (b)	千円	22,480	22,480	22,670	22,670	22,420	22,470	23,240	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	24,494	24,529	24,590	24,427	24,434	24,169	24,723	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	普及広報事業	シート番号	008-061
-------	--------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験学習会開催</li> <li>○ ミュージアムパス作製・配布</li> <li>○ 「日本と世界が出会うまち・堺」開催(中・高生参加研究発表)</li> <li>○ 広告業務</li> <li>○ 堺市博物館研究報告第39号発行</li> <li>○ 連続公開講座開催</li> </ul>							
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
				目標値	16	16	21	4	
				実績値	28	24	23		
				達成率	175%	150%	110%		
				評価	大変良い	大変良い	良い		
			算出方法・設定根拠など 開催回数実数。令和2年度はコロナ禍により実施期間大幅減のため目標値を下げる。						
		16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					目標値	610	750	820	135
					実績値	845	1,515	1,527	
				達成率	139%	202%	186%		
				評価	大変良い	大変良い	大変良い		
		算出方法・設定根拠など 参加者延べ人数。令和2年度はコロナ禍により実施期間大幅減のため目標値を下げる。							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	体験学習会・古文書講習会開催数	回	28	24	23
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,412	3,479	3,482
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	121,857	144,958	151,391
	備考(算出についての説明等)		体験学習会・古文書講習会に係る経費・人件費(再雇用職員1.0)。令和2年度は古文書講習会未実施。			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	体験学習会の参加人数	人	845	1,515	1,527
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,395	3,456	3,482
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,018	2,281	2,280
	備考(算出についての説明等)		体験学習会に係る経費(再雇用職員1.0)			

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		世界遺産効果が大きいとはいえ、広告業務やミュージアムパスの配布等により、体験学習会の参加人数も多く、それぞれの目標は達成できた。

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	普及広報事業	シート番号	008-061
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市内外の小・中学校の校外学習としての来館が増加傾向にあり、体験学習会などにより堺の歴史・文化を子どもたちに学んでもらう機会を無くすることはできない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 体験学習会の開催等により小中学生の来館が増えており、堺の歴史・文化を子どもたちに学んでもらいながら継承していくことは必要である。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 コロナ禍の中、体験学習会や講演会等は縮減して開催している。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 コロナ禍の中、体験学習会や講演会等は縮減して開催している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 普及広報においては、Webを活用した展示資料の解説動画の配信をはじめ、講演会や体験学習会など、ICTを活用した効果的な広報発信を行う。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 これまでの普及事業に加え、令和2年度から実施したネット配信「堺市博物館オンラインミュージアム」の更なる充実を図るとともに、ICTの積極的な活用による発信の強化に取り組む。		